

道伝えの日 芭蕉忌句会 入賞句

○兼題句「芭蕉忌」

・俳誌『飛驒』代表 小鳥幸男選

〔特選〕

三六、芭蕉忌や硯の海に乾ぶ艶

小唄 孝子

四九、卒塔婆の梵字おぼろや時雨の忌

山腰 みかよ

二九、船酔ひも旅の一つや翁の忌

益田 美貴子

〔入選〕

一二、雲水の鼻緒しめらす桃青忌

鈴木 善一朗

五四、縦に貼る一円切手芭蕉の忌

水口 諄子

・互選

〔一席〕

一二、雲水の鼻緒しめらす桃青忌

鈴木 善一朗

二九、船酔ひも旅の一つや翁の忌

益田 美貴子

〔三席〕

二、芭蕉忌や峰を離るる雲一朶

大滝 篤子

九、手鏡に月を招いて翁の忌

谷口 ふさ子

二六、山寺にほら貝聞くや芭蕉の忌

牛丸 一枝



道伝えの日 芭蕉忌句会 入賞句

○当季雑詠句(秋・冬)

・俳誌『飛驒』代表 小鳥幸男選

〔特選〕

三三、雁来紅子供歌舞伎の曾我兄弟

山本 史子

四〇、地球儀を回しふる里焼茄子び

桐山 久枝

一九、山襷の影濃くなりぬ初冠雪

垣内 静子

〔入選〕

一二、還り来るものに冬野のブーメラン

鈴木 善一朗

四、風鈴に風の欠片かけらもなき真昼

長瀬 理々子

・互選

〔一席〕

二五、穂すすきや風の持ち去るひとり言

曾出 きよの

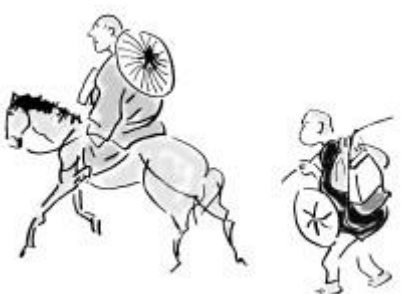
〔二席〕

四五、小鳥来る母の小さき押し車

今寺 久枝

五三、草紅葉黒牛ずしりずしりと来

金井 双峰



道伝えの日 芭蕉忌句会 高校生の部 入賞句

○当季雑詠句(秋・冬)

・俳誌『飛驒』代表 小鳥幸男選

〔飛驒神岡高等学校〕

入賞 二人して空風になり走りゆく

二年 上ヶ平 渚

〔吉城高等学校〕

入賞 年越しや幸せ願う友のあり

一年 深山 拳

〃 息白き朝制服と坂のぼる

一年 笹洞 祐也

〃 まぶしくて目をさす光冬野原

二年 田尾 奏

〃 運動会朝霧に射す日の光

二年 谷口 雷佳

